

事業分野
高齢者福祉

団体名
川崎市老人福祉施設事業協会

COLORS
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th

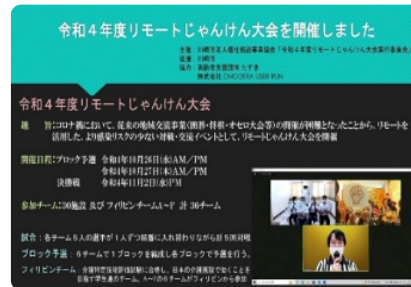
アイデアの種シート

関心のある 15のAction



これまでの取組活動

当協会は、市内で高齢者福祉施設を運営する36の社会福祉法人及び67の施設を会員とする団体です。コロナ禍により従来の施設間交流が困難となったことから、感染リスクの低いオリジナルの交流イベント「リモートじゃんけん大会」を創出し、令和2年度から実施しています。コロナ禍でリモート面談等の導入が急速に進み各施設の環境が整ったことから、当協会がリモート研修・会議用に導入した機材を用いることで実施可能となったものです。



令和3年度は緊急事態宣言下で本部運営が困難となり中止。今回は2回目の開催。会場への移動が不要で利用者や職員の負担が少ない、遠隔地との対戦が可能等のメリットもあり、今回は30施設のチームに加えフィリピンの介護特定技能者養成校から、日本の介護施設で働くことを目指す学生達のチームが6チーム参加。なお、試合の様子は利用者の御家族等にも視聴いただけるようYouTubeでのライブ配信も実施しています。



市制100周年に向けた取組アイデア



リモートじゃんけん大会は、コロナ禍による制約の中で、市内高齢者福祉施設間でZoomやYouTubeの利用が進んだことで誕生した、新しい対戦型交流イベントです。今年度2回目を開催し、演出等の完成度は徐々に上がってきていますが、まだまだ工夫の余地があり、イベントとしての発展性に多くの可能性があると考えています。100周年記念事業として準備を進める中で、たくさんのアイデアが集まることを期待しています。



また、大会そのものを市制100周年や都市緑化そのものを広報する手段として利用することが可能です。今年から採用している審判背後のグリーンバックには、動画やイラストなどテーマに合わせた様々な映像を表示することができます。さらに、団扇の裏面のデザインを現在のアマビエからテーマに合わせたデザインに変更するとともに、団扇そのものをグッズとして配布又は販売することで効果的に広報することができます。

実行委員会参画団体に向けたメッセージやアピール

- ・チーム同士が対戦するイベントは選手や観戦者の情緒を揺さぶり、たくさんの笑顔と感動をもたらします。
- ・コロナ禍の中で生まれた「リモートじゃんけん大会」は、川崎発祥の新しい対戦型交流イベントとして、多くの可能性を有しています。
- ・参加するためのハードルが低く、タブレット端末が1台あれば、誰でも参加することができます。
- ・海外からの参加も容易で、国際大会を開いても余計なコストはほとんどかかりません。
- ・また、試合はリモートでのタイムラグの問題を解消するため、事前に団扇を選んでおいて裏面を見せ合い、掛け声とともに表面に返す方式で行いますので、老若男女を問わず互角に対戦することが可能です。今年大会も90歳を超える川崎市と同年代の高齢者が多数参加され、たくさんの笑顔を見せていただきました。
- ・100周年事業として開催することでイベントとしての完成度を高め、さらに多くの笑顔と感動を創出したいと考えています。